

市民からの意見紹介

1. 水害対策について

水害により、自分の家が河川敷のような状態になってしまったので、そのような家がでないように河川改修をきちんとやってほしいです。被害は家財道具、家屋の改修を含め、1500万円以上でした。止水板への補助金や地盤沈下対策をやってください。やらないと今後ますます被害が増えていくと思います。これから温暖化が進み、強力な台風が発生してくることも考えられるので、早急な対策を進めてもらいたいです。

2. ①統合による学校施設の活用について

学校は地域にとってコミュニティーの中核であり、財産です。統合によって空いた学校施設を、不登校児童の多様な学びの場として文科省が推奨している不登校特認校として活用してはいかがでしょうか。地域のまちづくりとして地域みんなで未来の子ども達を支えていけたらと思います。

②高齢者の交通安全手段支援として市バスやオンデマンド利用の「半額パス」ちょっとお得な支援について

高齢者に市バス等の半額パスを支給することにより、長くコロナで閉じこもりがちな高齢者の外出を助けることで生活の質が向上し、フレイル予防や介護、医療予防、買い物等による商業の活性化の波及効果も期待できるのではないかと思います。

3. 天然資源の保全について

長期的な視野での持続可能な社会の実現に向け、市民の安全安心な暮らしと財産をお守りくださるようお願いいたします。茂原市は、天然ガスやヨウ素を多く含む帯水層であるガス田に恵まれています。昨今、海外の方々などが日本の湧水地を購入しているというニュースを目にしました。揚水による地盤変状や環境変化が、災害の甚大化、交通不良、構築物の損傷、生活環境の悪化など大きな問題

を引き起こす前に、早急な対策と法整備が必要です。暮らしを豊かにするはずのエネルギーの創出が暮らしを脅かすことにならないよう、行政において対策をお願いします。

4. 不登校対策について

私の子どもは現在小6で、3年生の頃から不登校になりました。当初は私も「学校に行くのが当たり前」と思っていたため、保健室登校や母子登校等続け、次第に子どもの心が壊れていきました。やがて、学習はおろか、日常生活もままならない状態になりました。

私の周りの不登校の親子を見ても、同じように悩み苦しんでいる方々がいます。苦しい時期を乗り越えた方々が口々に言うのは、傷が浅いうちに対策をとった方が回復が早いということです。

自治体によっては、不登校対策が進んでいるところもあります。子育てしやすい自治体には人が集まって、税収も上がります。

茂原市と千葉大学都市計画松浦研究室で作成した、空き家等を地域の居場所として活用している事例集のリーフレットを見ました。とても素晴らしかったです。これを絵に描いた餅にしないよう、行政、企業、市民が話し合う場をつくってください。

5. 消防団助成金について

消防団の助成金回収が来ました。使用がすごく不透明ですし、市からもっと払えないのですか？茂原市が自治会費や消防団への助成を推奨するなら他所の環境の良い街に移住したいです。

6. バスケットボール環境の整備について

市民体育館のコート、団体利用がない時間を一人単位の料金で安く貸してほしいです。茂原市はバスケットができる場所がなく、土気や長生村のバスケットコートがある公園に行っていますが、聞いてみると茂原の方がたくさん利用しています。新たにコートを作る予算をつけるのは難しいかもし

れませんが、市民体育館の空き時間を安く貸すのはいかがでしょうか。

7. 税金の活用や各種施設整備について

税金が高いのに、歩道が狭くガタガタ、夜間は真っ暗、これでは自転車生活が厳しい。茂原公園や、商店街、駅前ビルなどを整備し、有効活用してもらいたい。周辺自治体では実施しているようなコロナ禍での地域経済活性化のためのクーポンも茂原市には無い。

こちらに移り住んで8年。何の変化もない。店舗は減り、水害は酷く、河川整備で外観が悪化、歩道が減少。どうにかならないと移住の決断になりそうだ。

8. 議会報告会の実施方法について

インターネットによる録画配信となっているが、これでは市民との意思疎通が困難だと思います。昨年12月18日には市長と話し合う会が開催されましたが、間隔を取り、マスク着用などコロナ対策をし、対面で実施されました。議会報告会も市民と議員とが直接対話できるよう、対面での開催をご検討ください。

9. 市議会の活動について

議会がどのような活動をしているのか、もっと市民に知らせてほしい。